

聞いて、街の将来像

相模原・県央

中学生とラジオ番組制作

相模原商工会議所・都市産業研究会(都産研)は中学生を対象に発行した冊子の提言について、中学生がどう受けとめたか検証しようと、ラジオ番組を制作した。市内の中学3年生男女計4人と都産研のメンバーが、政令指定都市に移行した相模原市の街の将来像などについて活発に意見交換。エフエムさがみ(83・9メガヘルツ)で放送している。

(石曾根 剛)

相模原の都産研

参加したのは、市立藤野中学校の齊藤夢積さん、高崎麻希さん、市立中央中学校の太田健介さん、岩佐翔さん。4人は冊子の語り部となっている都産研に語呂を合わせた「とさん犬」というオリジナルキャラクターなどに触れ、「かわいしいし、図も使っていて分かりやすかった」と述べた。

また、今後の相模原のあり

方について「これからお年寄りがさらに増える社会になるので、バリアフリーを重視し、誰もが暮らしやすい環境にしてほしい」と呼び掛けた。都産研は今春、15年後のまちづくりの夢を託そうと、「未来を切り拓く中学生への提言」をテーマに冊子を作成。省エネルギーを重視し、無秩序な開発とならない、人に優しいまちづくりの「グリーン・コンパクトシティ」などを提言している。冊子は市立中学校の3年生全員約6千人に無料配布した。

放送時間などの問い合わせは、エフエムさがみ☎042(776)3980。都産研のホームページ(HP)ではこれまで放送した内容をWEBで配信している。HPは<http://www.tosanken.net/>



ラジオ番組で活発に意見交換する中学生ら(エフエムさがみ提供)

情報は相模原総局 ☎042(75)